

# 教頭通信デジタル

令和4年12月15日(木)第27号

文責：備前市立三石中学校 早川政宏

## 英語学習の様子が取材されました



本日、12月15日(木)、本校の英語学習の様子がテレビ局4社(RSK・OHK・KSB・TSC)と山陽新聞社から取材を受けました。10月から毎朝10分間取り組んでいるアプリを活用したモーニングイングリッシュと、2Aの英語の授業が取材されました。備前市教育委員会からは教育長の松畑先生が来校され、モーニングイングリッシュと2Aの英語の授業を参観されました。

生徒たちはいつものように、タブレットとヘッドセットを用意し、モ

ーニングイングリッシュをスタートさせました。多くの報道関係者の方が取材されていましたが、緊張することなく、普段通り、アプリのAIを相手にコミュニケーション学習を行いました。1校時目の2Aの英語は柿崎先生とジェームス先生のTT(ティームティーチング)で、非常に英語量の多い授業でした。ペアで学習に取り組むなど、協働学習が展開されていました。休み時間には数名の生徒が報道関係の方からインタビューやコメントを求められ、英語学習の成果などについて堂々と受け答えすることができました。



令和3年1月、文部科学大臣の諮問機関である中央教育審議会から『令和の日本型学校教育』の構築を目指して～全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現～』という答申が出されました。現在、学校現場はそのグランドデザインに基づいて新たな教育への挑戦を開始しています。本日取材を受けたモーニングイングリッシュは【個別最適な学び】、2Aの英語の授業は【協働的な学び】でした。三石中学校では、今後も引き続き、全ての生徒たちの可能性を引き出すことを目標に、個別最適な学びと協働的な学びを一体的に充実させ、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を進めて参ります。

